



いそべ孝義 後援会だより

下松市議会報告

笑顔輝くまちづくり

見たか よし。
聞いたか よし。
話したか よし。

発行：いそべ孝義後援会
事務所：下松市大字東豊井 794
(日立労組笠戸支部内)
電話：0833-43-3700



▲一般質問の様子

3月議会報告

2022年度一般会計予算 二百二十四億五千万円

「住みよさを実感できるところ」実現へ

1月臨時会が1月24日、3月定例会が、2月15日～3月24日、4月臨時会が、4月20、22日の会期で開催されました。議案内容などを報告します。

活動報告

With コロナの

アタリマエ

日常生活を取り戻す

4月10日の下松市議会議員選挙では、4期目の当選が果たせました。皆様のこれまでのご支援、ご協力などに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の対応から2年以上が経過しました。まだまだ安心できない状況ですが、今まで以上に社会を動かしながらWithコロナをアタリマエにする時期が近づいています。
3月の一般質問では、「社会を止めるな」とい

うテーマで、「市ではこの2年間のコロナ禍の対応として感染症拡大防止、市民生活の安定支援、事業継続・経済の安定支援の3つをポイントに進められている。この経験をどう活かすのか。」など問いました。

市長からは、「何をすることも全庁的な対応をするという考えで、オールド下松市役所で取組んだ。ピンチをチャンスと考えるきっかけとなり、職員の意識の変化につながった。この経験を

これからの業務にも活かしていきたい。」との答弁でした。

もう一つは「学びを止めるな」というテーマで、「学びは授業だけでなく、集団生活、コミュニケーション、遊びからの学びもある。コロナ禍で貴重な体験機会が少なく我慢を強い状況が続いた。ICT化が進む中で新しい学びのカタチに期待する点は。」など問いました。

教育長からは、「これからの学校には、過去の教育実践の成果と、ICTを活用したベストミックスの新しい学びのスタイルを創造することが求められる。今後加速度的に変化する社会の担い手となる子どもたちの可能性・能力を引き出す、多様なニーズに合った学びの提供にチャレンジし、使命感を持って子どもたちの育成に努めたい。」との答弁でした。

みなさん、Withコロナでの日常の学び・笑顔を取り戻すことを一緒に考えましょう。

2022年度 市長施政方針(要旨)

※財政構造の見直し指針：現在の財政状況を分析検証し、収支均衡のとれた歳入歳入構造を進めるための指針。

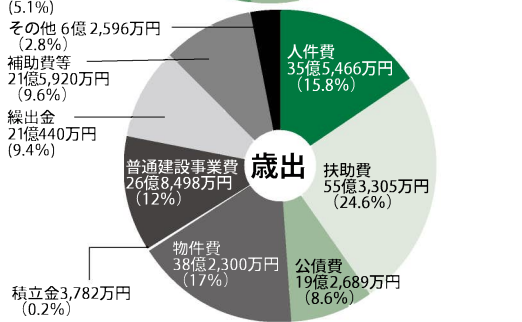
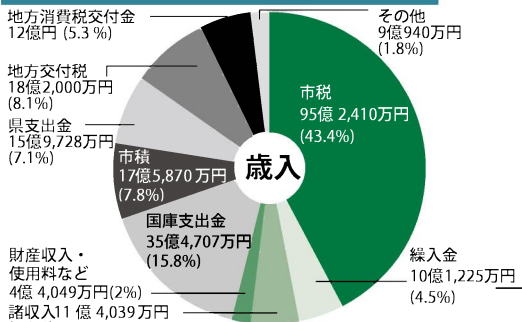
長期化する新型コロナウイルス感染症が社会経済情勢に与える影響は、依然として不透明で、予断を許さない状況にある。

近年の自然災害や感染症などの危機管理への対応やコロナ時代を見据えたデジタル化の推進など、新たな行政需要や社会経済環境の変化に適切に対応しなければならぬ。少子高齢化や地域活性化などの課題を著実に前進させるため、「財政構造見直し指針※」に

基づいた徹底した行財政基盤の安定・強化と「選択と集中」による持続可能な行財政運営が求められる。

総合計画や総合戦略に沿った各種施策を着実に具現化し、重点政策の「暮らしの安全安心対策の充実・強化」と「産官民による魅力づくりの推進」に官民協働による「オールくたまつ」で取り組む、「住みよさを実感できるまちくたまつ」の実現に向け鋭意努める。

一般会計(224億5千万円)歳入・歳出の内訳 (単位:千円)



～新型コロナウイルス感染症対応～

◎新型コロナウイルスワクチン接種事業

・接種体制の整備及び市民への接種実施 (全額国の補助)

事業費：1億895万円

◎新型コロナ感染症対策費

(各所の消耗品や備品など整備)

事業費：1,000万円

◎中小企業感染症予防対策補助金

・感染症拡大防止に要した経費を補助(最大30万円)

事業費：4,600万円



▲豊井小学校



～学校環境整備～

◎小学校トイレ洋式化事業 [R3 補正]

・東陽小学校 (第1校舎、屋内運動場)
豊井小学校 (本館、屋内運動場)

事業費：9,800万円

◎中学校特別教室空調設置[R3 補正]

・久保中学校、末武中学校

事業費：7,500万円

◎豊井小学校第1校舎改修工事

事業費：2,900万円

◎ICT教育推進事業

・デジタル教材、通信料負担、ICT指導員配置など

事業費：8,555万円

主な施策と事業費です

～子育て支援事業～

◎下松児童の家3・4建設事業

事業費：9,216万円

◎3歳児健康診査における屈折検査

・弱視早期発見のための検査機器導入

事業費：161万円

◎豊井地区まちづくり整備事業

事業費：5億4,521万円

・用地取得や生活道路の環境整備推進



▲旗岡住宅イメージ図



▲花岡公民館講堂イメージ図

～防災事業～

◎高潮ハザードマップ作成業務

事業費：950万円

◎高規格救急車更新

事業費：4,000万円

旗岡市営住宅B号棟建設事業

事業費：3億1,800万円

2021,22年度 総事業費見込み4億8,000万円

花岡公民館講堂建設事業

事業費：3億7,070万円

2021,22年度 総事業費見込み4億3,870万円

新斎場周辺環境整備事業

事業費：6,300万円

恋ヶ浜緑地公園駐車場整備他

事業費：5,000万円

情報発信ツール構築事業

事業費：250万円

ものづくりアーカイブス作成、地産地食事業、DX推進事業 etc.

一般質問報告

「社会を止めるな」
長期化するコロナ禍
での対応と課題

Q. 新型コロナワクチン接種の対応状況(3回目、1,2回目、5~11歳)と課題を問う。子どもは一般的に重症化しにくいことや副反応の心配から接種をためらう方、将来にわたるリスクがまだ見えないことなどから迷われている方も多いのでは。

A. 3回目接種は2回目から6カ月経過した方に順次接種券を発送。国からの割当てワクチンはファイザー社とモデルナ社半々。接種を加速するため交互接種の効果や安全性の確認などモデルナ社接種の促進も進めている。

1,2回目接種は12歳到達やこれまで接種できなかった方への接種機会の確保のため医療機関と調整を進めて

※GIGAスクール構想：令和時代のスタンダードな学校像として1人1台端末及び高速大容量通信ネットワークの整備を文部科学省が示したもの。

いる。

5~11歳への接種は、対象保護者へのアンケート結果から概ね4割が接種させたいとの回答から、接種券を対象者に発送し、3月上旬から接種を開始する。

Q. 子育て支援(保育所や児童の家など)の対応の考え、状況を問う。

A. 社会機能維持のため原則開所の考えで、これまで規模縮小や一時預かり、家庭での保育が可能な保護者への利用自粛のお願いなどしてきた。引き続き各施設との

連携、感染症対策を徹底し保育の継続に努める。

Q. 長期間のコロナ対応では市職員のマンパワーが必要な業務が続いている。さらに今年に入ってから急激な感染拡大は誰もが感染や濃厚接触になる可能性があり、市の業務が停止する状況もありうる。

A. 分散勤務などの予防的措置に努めるとともに、ワクチン接種や給付金事業は連携・調整を図り、「オール下松市役所」の応援体制を構築し対応してきた。

感染症対応のBCPは職員の概ね4割が出勤できない場合に業務の一時中断や段階的な応援体制を構築するものだが、状況を総合的に判断し市長が発動する。絶えずBCPの精査見直しを行い、業務継続を確保する取組みを進める。

《コロナ禍における庁内体制》 オール下松市役所の 応援体制で対応



GIGAスクール構想

「学びを止めるな」
GIGAスクールの
成果と課題

など周辺機器も購入予定。様々な学習場面で日常的に使われ、特に情報活用能力や表現力の向上、個に応じた学習の効果が見れていると認識している。

残されており、課題の把握に努めICT教育の一層の充実に取り組む。
Q. 突然の登校不可や休業は子どもたちや保護者にとって大きな負担となる。
非常時にあっても子どもたちの学びを止めない考え方(学校と家庭の家庭学習への環境状況、登校できない場合の対応など)を問う。

Q. 2021年度は1人1台端末や高速大容量の通信ネットワークの整備が進み本格的に利用が始まったGIGAスクール元年といえる。環境整備の状況や1年間の機器の活用状況、子どもたちの学びの変化、課題(子どもたちの健康面や教員のスキルなど)への対応状況を問う。

A. 休業等により登校できない児童生徒はタブレット端末を持ち帰り、学校が指示した学習サイトや授業配信など家庭での学習に活用している。

A. 令和3年12月に小学1,2年生のタブレット端末を整備し、1人1台端末整備が完了。回線の増設や大型提示装置

《GIGAスクール元年(2021年度)》 情報活用能力や表現力の向上、 個に応じた学習に効果

通信環境がない家庭にはモバイルWi-Fiルーターを貸与している。今後はICT担当教育指導員を増員し、教育研修を充実し指導力の向上に努めていく。
タブレットの持ち帰りの規定や使用に関するガイドラインを既に配布し、指導をしているところである。

※業務継続計画(BCP)：大規模災害時の場合でも、災害に伴う緊急業務や優先度の高い通常業務が適切に実施できるよう計画しておくもの。2018年3月策定。感染症対応版が2021年3月策定。

※ネーミングライツ：公共施設の名前を付与する命名権。スポーツ施設等に企業名や社名ブランドをつけること。スポーツ公園体育館（トラックワンアリーナ）など

トピックス

『恋ヶ浜緑地庭球場完成』

人工芝コートに
リニューアル!



「ネーミングライツ」
募集中。

“くだまつ子育てアプリ導入 「ママパパ」から「母子モ」へ移行”



「母子モ」

妊娠から出産、子育てまでをサポート。母子健康手帳機能を備えたアプリ
子どもの成長を記録～忘れがちな予防接種も管理



久保児童の家2 開所

既存の児童の家の隣に新設
合計定員は 80 人
5, 6 年生児童の受入れ開始



各種行事に参加しています



12/4
認知症見守り
声かけ体験会
豊井地区
認知症サポーター講座や
声かけ・通報の体験。



3/10
救助工作車配備式
消防本部にて、油圧ツールでの
救助の様子（これまでの装備と
の違い）を学ぶ。
最新装備・大型LED照明等

連合山口東部地協 下松地区会議『対市要請』

(12月24日)(勤労者・生活者の立場から市へ要請するもの)

- 防災防犯、安全な道路整備：
内水氾濫の減少、落ち葉清掃、
下松-光間の複合的な交通機能の確保など
- 子育て環境の充実、子どもたちの安全安心対策：
手続や施設の ICT 活用強化、放課後の居場所づくり
- コロナ対応：事業者支援、実態把握
- デジタル化推進による市民サービスの向上：
申請・給付の電子化など
- 明るい元気なまちづくり：
健康促進、商業施設や観光案内所活用周知に
よる賑わいの創出など



2021年度補正予算 主な内容

新型コロナウイルスワクチン接種事業費

・5歳～11歳への接種体制の整備(全額国の補助)
補正額： 2,115万円

新型コロナ感染症対策基金積立

- ・感染症の影響により中止となった行事など経費減額分の積み立て
補正額： 234万円
- ・保育士等処遇改善臨時特例事業[825万円]
- ・農地の現地把握のためのタブレット購入[120万円]